

## 事業名：市内私立高校助成金

教) 総務課 総務係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実								
基本事業	99 施策の総合推進								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

<b>事務事業の目的と成果</b>	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内に私立高校を設置する学校法人	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市私立学校補助金交付要綱」に基づき、私立高校の特色ある教育を支援又は教材教具の充実を図るために必要な補助をする。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
各校の建学精神に基づき、個性豊かな教育活動を積極的に展開され、教育の振興に貢献されていることから、特色ある教育が一層促進できるようになる。	

<b>指標・事業費の推移</b>						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市内の私立高校数	校	2	2	2	2
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標2						
成果指標1	市内の中学校卒業生のうち、市内の私立高校に入学する生徒の割合	%	9	9	8	9
成果指標2						
事業費(A)		千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費(B)		千円	401	401	391	391
総事業費(A+B)		千円	6,401	6,401	6,391	6,391

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
25年度	市内私立高校に対し補助金を支出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある教育を実践するための事業への補助金</li> <li>・教材教具の整備事業への補助金</li> <li>・その他教育委員会が必要と認める事業への補助金</li> </ul> 6,000千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化
特色ある教育を比較検討するなど多様化が進み、その選択において私立高校を志望する気運も高まってきている。

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 私学の助成は成果が直ちに現れない長期的視野に立った人材育成のプログラムの一環であり、それらを推進するための公的支援は妥当。現状の私学を取り巻く経営環境を考えると、私学の経営支援は必要と思われる。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 私学振興自体は上位施策に貢献するが、現状の補助金額では大きな成果は期待しづらい。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 補助に対応する一定の教育的取り組みは行われている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 学校予算に占める割合が低く、現状の補助額では成果の向上余地は大きくない。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 現状の補助額は最低限と判断する。